

午後Ⅰ試験

問1

問1では、ERPパッケージ製品のバージョンアップを伴う基幹システムの再構築プロジェクトを題材に、各種の要件や制約条件に基づいた移行計画の立案について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問3(1)は、正答率がやや低かった。業務上の問題を問うたにもかかわらず、“各種のコードがA社と関連会社の間で統一されていない”というシステム上の問題を誤って解答した受験者が多かった。業務上の問題とシステム上の問題とを正しく区別して解答することを心掛けてほしい。

設問3(2)は、正答率が低かった。基幹システムのデータ移行方法に関する理由と混同して解答した受験者が多かった。複数のシステムを取り扱う移行計画の立案では、システムごとに異なる要件や制約条件を正しく理解することが求められる。システムごとのデータ移行方法の違いをよく理解して、正答を導き出してほしい。

問2

問2では、セミナー管理システムの新規開発を題材に、システムの機能やファイルの設計、及びレビュー指摘事項や追加要望に応じた設計変更について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問2の正答率は平均的であったが、先に他者が申込みを確定した場合とだけ解答し、その結果として定員に達することについては全く触れていない受験者が多かった。どのような場合に定員を超過することがあるのかを考えて、正答を導き出してほしい。

設問3(2)は、正答率が低かった。移す先のファイル名を誤って解答した受験者が散見された。設計変更前のデータ設計を把握した上で、追加要望を満たすことができる適切な移動先のファイルを導き出してほしい。

問3

問3では、融資保証システムの再構築を題材に、新システムへの要望に基づいた情報システムに求められている機能の設計について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問4(2)は、正答率が低かった。現行業務と融資保証の概要を踏まえた融資残高レポートに記載する内容を十分に理解できていないと思われる解答が散見された。現行業務と“契約状態”の示す状況を正しく理解した上で、支払う金額を導き出してほしい。

設問5は、正答率が低かった。新システムへの要望のうちの一つに対応している項目だけを解答し、他の要望を考慮していない受験者が多かった。全ての要望を正しく理解した上で、正答を導き出してほしい。

問4

問4では、ホテルチェーンを展開する事業者向けの顔認証システム、及び顔認証を提供する基盤システムを題材に、要件分析を基にした顔認証基盤の構築、顔認証基盤の適用性検討から得られるエッジコンピューティングの必要性と処理内容について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問2(2)、(3)は、顔情報と識別情報の関連付けの方法、及び識別情報の使われ方について出題したが、正答率が低かった。特に(3)は、具体的な目的が記述できていない解答が散見された。識別情報の構築方法や運用方法を通して、顔認証基盤が様々な事業者への適用を可能にしていることを理解してほしい。

設問3(2)は正答率が低かった。具体例のない解答や、具体例だけで、どのような場合に使用すべきかが不明な解答が散見された。エッジコンピューティングは、リアルタイム性の確保や負荷分散の目的で導入されるが、一般にエッジコンピューティング用のデバイスは、ハードウェア制約から限られた情報しか内部に保持できない場合が多い。本システムでは、チェックインを予定している利用者やチェックインを完了した利用者など、認証対象を絞り込むことで、顔認証端末内部に保持する情報を限定し、エッジ認証を適用可能としていることを理解してほしい。